

第84号/2024年4月19日

おおさきかみじま

議会だより

大崎上島町立木江小学校入学式



式次第

令和6年3月定例会

おが町の予算主なりとひ - 2 ~ 3

決まった主なこと - 4

9 議員が一般質問 - 5 ~ 13

委員会報告

おれから・編集後記

14 ~ 15

16



主なやりと



問 ふるさと納税において動物愛護の枠をつくって野良猫対策、野良犬対策に利用するというお考えは。

【森若議員】

答 団体ではなく事業、種別、目的にかなうものがあるさと納税でどういう形ができるか検討しようと思っ

ている。
それがいつの時点で行えるかは時間を頂き、長期総合計画の中でその区分も含めて考えていこうと思っ

【町長】

問 体験型修学旅行誘致事業、民泊に関して令和6年度は14校受ける予定で、5月、6月の前期と9月から11月の後期に分かれている

が、前期の中でも予約を受け付けた時期によって料金が新材料金と旧料金が交ざっている。民泊受入れ家庭の中で同じ期間内で新材料金、旧料金というのは不満が出ないか。

【森若議員】

答 今検討中で明確なことは言えないが、受入れ家庭に迷惑をかけるような体制づくりを考える。

【地域経営課長】

問 需用費480万6,000円の中には町の広報費入っているか。

また、広報紙は一部幾らか。

【森若議員】

答 町広報の費用は入っていない。この中身には、一般管理総務費の事務費、職

員研修費、職員の衛生管理費等に要する事務の需用費です。
広報紙一部は96円

【総務・企画課長】

問 カーボンニュートラル推進事業として4,663万円を計上しているが、5年度に5ヶ所太陽光を集会所に設置した費用が委託費を含めても3,757万7,000円。学習交流センター1か所だけでなぜ3,594万円と高額になるのか、その理由を伺う。

【森若議員】

答 学習交流センターは20キロワットの蓄電容量、それに対して集会所は6.5キロワットで、非常に小さい容量のものが置かれており、内容がかなり違っている。

【企画課長】

問 栽培漁業の新魚種導入事業は何年かにわたってずっとやられているが、今回新しい魚を取り組むとか今の内容を伺う。

【尾尻議員】

答 新魚種はない。毎年放流しているタイ・メバル・ヒラメ等の魚種を放流している。

【地域経営課長】

問 郷土史の編さん事業は、現在どの程度進んでいていつ完結するのか

【尾尻議員】

答 令和3年度にスタートして来年度、6年度で一応完結の事業ですが、当初の予定より進んでいない状況です。

【教育課長】

わが町の予算

問 歳入で財調繰入れが、今年度8億円超える、今後の見通しについて説明を

【閑田議員】

答 今年度8億円を超えての繰入金を入れ歳入歳出の均衡を図っている。昨年度は6億円以上で、多額の繰入金に頼っている状況。予算編成に向け、町長・副町長とも検討し令和7年度の予算に向けて早めに動かなければならぬ。

【総務課長】

問 野賀の海水浴場の整備について、大串の海水浴場キャンプ場等の整備に関して予算化されていたものをストップしていながら、なぜ大串をほったらかしにして野賀へ行くのか

【閑田議員】

答 予算に限りがあり、利用者の多い大串地区から整備予定だったが、事業説明、地元説明で皆さんの理解が得られない状況が起きまし

たので、理解が得られないため、一旦検討課題とした。大串の整備を止めるのは、観光振興についても止めることになるため、2か所整備計画をしていた大串が今検討中なので、野賀の整備で予算要求をした。

【地域経営課長】



問 町長の説明によると8%減の予算、削減をしたということだが、今年度中止や延期または完了した事業の予算が入っていないため実質増えているのか。

【水橋議員】

答 一般会計予算説明で冒頭8%減らしたと言ったが、施政方針では言っていない。財政的な考え方を長期総合計画の中で考える。

【町長】

問 カーボンニュートラル推進事業の水素関係事業は環境省から直接依頼を受け町も積極的に動いていたが昨年度急に動きが停滞し不採択となったと聞く。また、町長は企業誘致について待ちの姿勢と答弁したが、積極的誘致ではないのか。

【水橋議員】

答 単に待って、来るのをただ単に茫然としているのではなく、町からある程度提案をして一緒に何ができるか、そして地域で根づいていけるか、単に立地ではなく、地域でいろんなことを一緒にやっていけるかどうかという判断をしている。

【町長】

問 新型コロナウイルスワクチン接種の予算を3,100万円とっている、詳細説明を

【渡辺議員】

答 今年度で国の公費負担が終了するため、来年度町の持ち出しで、ワクチンの接種1回分を予算計上している。

対象者は、インフルエンザワクチン接種も高齢者65歳以上・乳幼児・妊婦へ無料接種をしている、そちらと併せて1回分の予算ということ、1回ワクチン接種が今のところ国の発表では7,000円と出ている、そこで3,600回分を予算計上している。

【保健衛生課長】

決まった主なこと

第1回定例会(3月議会)

大崎上島町議会は、令和6年第1回定例会を3月1日～3月25日の会期で開会した。9人の議員の一般質問に始まり35件の議案を審議し可決、2件の報告、1件の議員発議を行った。

- ・令和5年度大崎上島町一般会計補正予算(第6号)
- ・令和5年度大崎上島町特別会計補正予算(第2号・第3号) (5件)
- ・専決処分した事件の報告について (2件)
- ・人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて
- ・損害賠償の額の決定及び和解について
- ・広島県と豊田郡大崎上島町との間における漁港管理事務の事務委託に関する規約の変更について
- ・大崎上島町議会議員及び大崎上島町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例について
- ・大崎上島町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について
- ・大崎上島町コミュニティ集会所条例等の一部を改正する条例について
- ・大崎上島町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について
- ・大崎上島町介護保険条例の一部を改正する条例について
- ・大崎上島町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例について
- ・大崎上島町空家等の適切な管理に関する条例の一部を改正する条例について
- ・大崎上島町営住宅条例及び大崎上島町営特定公共賃貸住宅条例の一部を改正する条例について
- ・大崎上島町過疎地域持続的発展計画の一部を変更することについて
- ・公の施設の指定管理者の指定について (4件)
- ・令和6年度大崎上島町一般会計予算
- ・令和6年度大崎上島町国民健康保険事業特別会計予算
- ・令和6年度大崎上島町介護保険事業特別会計予算
- ・令和6年度大崎上島町後期高齢者医療保険事業特別会計予算
- ・令和6年度大崎上島町港湾管理特別会計予算
- ・令和6年度大崎上島町漁港管理特別会計予算
- ・令和6年度大崎上島町交通事業特別会計予算
- ・令和6年度大崎上島町干拓地管理特別会計予算
- ・令和6年度大崎上島町下水道事業会計予算
- ・大崎上島町教育委員会教育長の任命につき同意を求めることについて
- ・大崎上島町教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて
- ・令和6年度大崎上島町一般会計補正予算(第1号)
- ・工事請負契約の変更について
- ・年金制度における外国人への脱退一時金の是正を求める意見書案

一般質問

町政を問う

9人の議員が18項目を質問



みずはし なおゆき 議員
水橋 直行

質問（水橋議員）

① 施政方針の中に「町政運営の総合的な指針となる第3次長期総合計画の策定を進め、新しいまちづくりを加速してまいります。」とあり、町長は答弁の都度、また車座談義等で、数多く言われる言葉として第3次長期総合計画を策定中で、それができるまで待てと聞こえるような答弁を多く繰り返している。今を生きている僕たち町民が置き去りになっていないか。聞き取れかねないような話だと思いが、第2次から第3次に切り替わる何年かは停滞させるものと考えているのか。

② この1年間、誘致活動でホテル事業誘致失敗、環境省から話が来たカーボンリサイクルの水素事業が不採

問

施政方針について伺う

答

着実な事業成果の達成を図る

扱、大串海水浴場整備中断、ふるさと納税寄付金支援団体の廃止（本会議で取り下げ）、危険建物の町営住宅建て替え無期限延期など前町長在任中の第2次長期総合計画時代の事業等を中止、廃止等数多く見られるがどう考えているのか。

③ 近年人口が7千人を切り歯止めが利かなくなっている。歯止めをかけるため住む場所の確保と働く場所の確保のため企業誘致が必要と考えるがどうか。

④ 来年度当初予算を8%減と説明したが、今年度完了事業、延期事業等の予算計上がされていないため実質増えているのか。

答弁（町長）

① 従来からの継続してい

る事業につきましては、原則この10年の第2次長期総合計画の総決算として成果を紡ぎ出していく必要不可欠なものとして認識している。

② 自分1人の判断でそういうことをしているつもりはない。もう一度町民と合わせて整理していこうという判断の下で延びている。

③ 第3次長期総合計画に反映できるような形で、それをまた町民の皆さんにもお示していく。

答弁（総務課長）

④ 令和5年度の大規模事業として、広島中央環境衛生組合の負担金が、約3億1,000万円、公営住宅建設事業が約3億4,000万円、西唐樋の排水機場の建設事業費が約1億3,000

0万円が令和5年度当初予算に計上され、この事業は完了もしくは延期しており令和6年度予算からは落ちている。前年度と比較すると約1%の増の予算となっている。





おじり やすし
尾尻 康二 議員

問

足場管ハウス建築に関する研修事業は

答

実証試験を行い、ハウスの導入を検討する

質問（尾尻議員）
町長は新年度の農業振興策として安価で自家施工できる足場管代用農業ハウスを普及するため、建築技術等の研修を行う事業を予算計上している。当事業の目的は農業者が研修として足場管ハウスを建築し、建築に関する知識や技術を向上させることにある。建築後は対候性等の確認を行い、足場管ハウスの導入の可否を探るとあるが、研修の対象者の範囲は、誰が建築の指導に当たるのか。建築後のハウスの耐候性などの確認はどのように行うのか。広島ゆたか農協との協力体制はどの

ようにとっていくのか。また、今後、ハウスを導入する場合は、資材等の助成は考えているのか。

答弁（地域経営課長）

農業振興策として広島県技術センターで行っている足場管ハウスの研修を町が主体となり農業者と実証試験を行っていく。研修方法は、1棟の足場管ハウスを見本に町が建築し、その後、もう1棟を研修者が見本を見ながら建築する。建築の指導は農業者、町の職員、県技術センターが講師となり建築する。耐候性などの検証はハウスの建築を行い技術センター、農協、町の職員が一緒に検証を行う。また、ハウスもレモンなどの果実、トマトなどいろいろ

あるので、その分野の方が検証していく。資材費の助成は、耐候性などの検証が分かれれば検討する。実証試験を行う中で、県とも協議し、支援について考えていく。



問

ゴミの不法投棄防止への取組は

答

不法投棄の現場周辺に警告の看板を設置している

質問（尾尻議員）

ゴミの不法投棄が島内の様々な場所に見られ、不法投棄は増加している。不法投棄防止は永年の行政課題であり取組を強化することが必要である。現在、不法投棄が見られる場所と防止対策は。

答弁（保健衛生課長）

県、警察、消防、海上保安庁などの関係団体と連携して合同パトロールで監視している。不法投棄がみられる場所は町道沖浦本郷線の王子の滝付近、農道外表面の道路下、明石地区旧県道沿い、八木農道沿いとなっている。防止対策は不法投棄等があれば、各区長が要望書を保健衛生課に上げ、それに対し、保健衛生課が現場を確認して警告の看板を設置している。状況がひどい場合は関係各課、



建設課、地域経営課、警察、海上保安庁に連絡をとり対応している。現在、廃棄物処理法の罰則が厳しくなっており、不法投棄をする個人で5年以下の懲役もしくは1千万円以下の罰金、その両方が発生する場合もある。事業者で5年以下の懲役と3億円以下の罰金、もしくはその両方が課せられるように法改正されており大がかりな不法投棄は減少した。



かん だ たいすけ
閑田 大祐 議員

問
企業誘致の
実施を

答
令和6年度で
進める

質問（閑田議員）
町長就任から初の施政方針を示されたが、谷川町長の思い、意欲というものがあまり感じられない内容だった。町長として何がしたいのか、どのような町づくりをしたいのか端的に町民にお示しいただきたい。

答弁（町長）
施政方針の内容は、令和6年度の予算編成において、国や県の新年度予算に対する基本方針を踏まえている。大崎上島町にとって必要とされる施策については、庁内の連絡、関係団体、民間企業、教育機関、さらには多く

問
悪水溜の改善を

答
対策を検討する

質問（閑田議員）
浸水などの災害対策はポンプの整備など着々と行われているが、経年により調整池に土砂の堆積量が増え、排水時に干上がり悪臭がするなど生活環境の悪化を招いている。ボラが大量死した事例もあるが、これを放置した場合疫病が蔓延する恐れもある。
浚渫を行い環境の改善を図るべきだ。

答弁（建設課長）
調整池の浚渫は、環境改善対策として有効との認識は同じだが、現場状況により工事費の差が大きくなることが想定される。
各調整池の現状を把握し、状況に合わせた環境改善の対策を検討する。

問
災害に備えたインフラ整備を

答
令和6年度で進める

質問（閑田議員）
能登半島地震では道路が壊滅し、半島の入り口がボトルネックとなり救援に大きな支障となった。また、地殻変動で各港が隆起して使えなくなった。このようなことを想定した防災計画が必要では。
また、山尻地区のようにアクセスできる道路が一本しかない地域の避難路の確保は。

答弁（総務課長）
大規模災害発生時には道路や港湾施設の損壊により陸上及び海上交通が寸断されるのが想定され、その場合、機動性に優れたヘリコプターによる災害応急対策が重要となる。
そのため本町の地域防災計画では、ヘリコプターによる災害応急対策計画を策定し、災害時のヘリコプ

ターの活動内容、活動拠点及びその要請方法等について定めている。

答弁（建設課長）
道路の新設等、土木のハード事業には多額の予算と時間がかかるので本町道路事業は2事業程度を計画的に実施していくことが理想と考えている。
山尻地区については、現在着手している他の地区の工事が完成した後に、次の道路整備計画で検討していく。





もり 森 ルイ 議員

上組隧道の保存と
観光資源としての
活用は

問
答
検討していく

質問（森議員）

上組隧道について何
う。

- ① 工事の進捗状況は
- ② 保存の検討は
- ③ 二次元コードを掲示
したり、AR（拡張現
実）で100年前の工
事の様子を紹介するな
ど新たな形で観光資源
とする考えは

答弁（建設課長）

- ① 令和3年度に道路概
略設計、令和4年度に
道路ルート of 検討と道
路詳細設計を実施して
いる。今後の計画は、
用地測量を行い用地交
渉、本工事へ進み、令
和10年度に工事完了予
定。

質問（森議員）
令和5年5月26日に施行
された「宅地造成及び特定
盛土等規制法」について何
う。

問
答
① 法改正の内容について町
民への周知は

- ② 町内の盛土等の許可・届
出件数と盛土等の現状は
- ③ 農地とそれ以外の土地へ
の盛土等について建設課と
地域経営課の連携は
- ④ 許可・届出のあった盛土
の現地確認は

答弁（建設課長）

- ① 令和5年5月に回覧文書
を各地区に配布した。町の
HPに県のHPのリンクを
掲載して周知することは検
討する。

問
答
宅地造成及び
特定盛土等規制法
についての周知は

問
答

町のホームページに
県の情報のリンクを
掲載することを検討
する

- ② 町の土砂条例に基づいて
許可申請が行われたものが
3件。これは法が変わった
ことで県へ届出が必要だが、
届出があったか把握してい
ないため県に確認をする。
令和5年9月28日の運用開
始以降、県に申請中のもの
は1件。

問
市町村子ども
計画の策定は

答
「子ども・子育て
支援事業計画」の
次期計画において
策定を目指す

質問（森議員）

子ども基本法に基づく
「子ども大綱」を勘案した、
子ども・子育て支援につい
て何う。

- ① 町の計画策定の方向性や
新規事業は
- ② 放課後子ども教室の来年

度の受け入れは
③ アンケートの回答にあつ
た体罰事案への対応は

答弁（福祉課長）

- ① 現在、次期計画を作成す
るにあたり、就学前児童保
護者と小学生保護者に対し
てニーズ調査を実施してお
り、その調査結果を基に子
ども・子育て会議で必要な
支援や施策等を検討してい
く。

答弁（教育課長）

- ② 令和6年度の放課後子ど
も教室の入会希望者は、東
野教室が22名、大崎教室が
48名、木江教室が9名と
なっており、入会希望者全
員に決定通知を出す予定。

答弁（教育長）

- ③ スタッフによる体罰が
あったが、保護者・児童へ
の謝罪、町長への報告や教
育委員会での報告はして
いない。



はま だ こうぞう
浜田 幸造 議員

問 町道沖浦本郷線に防犯外灯の設置を

答 現地を調査し、検討していく

質問（浜田議員）

本道は、落石防止対策・道路舗装・トンネル内の補修（被覆工剥落防止対策・照明更新）が整備されてきており、昼間は安全に通ることができるよう改善されてきている。しかしながら、道路勾配が急で、大きなカーブも多くあり、時にはイノシシの出没もあり、夜間の通行は非常に危険な状況にある。

災害時には、迂回路又は避難路と活用する道路なので、早急に防犯外灯を設置し、夜間でも、安全に通行できるように改善すべきである。現在、本郷側は七窪

池から大崎上島トンネルの間に約20～40mの間隔で、電柱が建てられている。電柱に共架し防犯外灯を設置すれば、費用が少なく済むと思うので、早急に現地を調査し、必要な箇所を選定し防犯外灯の設置を。

答弁（建設課長）

防犯外灯の設置は、主に地区の要望・通学路・住居地区の防犯対策などの目的としている。地区からの要望で設置した防犯外灯は設置費・電気代を一部負担する必要があるため、人家の無い山越えの町道沖浦本郷線には、防犯外灯としての設置は困難と考えている。

これまで、道路照明灯を設置する場合は、主要な交差点・横断歩道に設置して

いる。しかしながら町道沖浦本郷線は、大崎地区と沖浦地区を結ぶ重要な路線と認識しているため、現地を調査し、夜間においても安全に通行できるように、道路照明灯の設置を検討していく。

また、道路照明灯を設置するには、場所によっては電柱があっても送電されている電圧の関係から、照明用に追加の電気配線作業などに高額な費用負担を伴うことが考えられるので、電気配線を使用しない視線誘導標も含めて検討していく。



自治功労者表彰

全国町村議会議長会表彰

町議会議員27年以上

渡辺年範



広島県町議会議長会表彰

議長5年以上

信谷俊樹



町議会議員14年以上

閑田大祐





もりわか 森若 議員

問
原下集会所太陽光発電設備工事について現場管理費とは

答
現場で管理する費用ではない

質問 (森若議員)

この案件については令和5年12月議会です少し触れた。予定価格693万円を提示。入札を2者で執行1者が307万円オーバーの1千万円で応札失格。予定価格を公表している中で、1千万円で応札したことが理解できない。受注業者が提出した工事費内訳書の中に現場管理費78万円とあった。この78万円について何うが現場管理費は受注業者が現場で施工業者を管理する費用と思うが。

(森若議員)

施工業者が自主的に管理する費用とのこと。なぜその費用を受注業者が計上するのか。

「監理」「管理」と2つの字があるが国語辞典によると「管理」とは仕事や組織を責任を持って動かすこととある。3度現場に足を運んだが施工業者はいたが受注業者関係の人は1度も見なかった。

答弁 (総務課長)

この現場管理費は一般的に施工業者が現場

問
指名競争入札とは競争の原理が働いていると思うか

答
予定価格5千万円未満の場合は事前にその金額を公表しています

質問 (森若議員)

令和5年12月19日に予定価格246万1000円で入札案内を14者に出し7者が辞退した。7者が応札し、1者は予定価格で6者は218万8000円でくじで落札業者が決定。同じ積算ソフトで積算すれば同額になることは理解できる。前にも言ったように数多の人

答弁 (総務課長)

予定価格を公表しての入札には最低制限価格の制度を適用して、その金額の算

問
柿の浦住宅について、最初の計画が白紙になったが町としてはどのように考えているのか

答
協議会で検討する

質問 (森若議員)

令和3年に委託費4,800万円計上し、ある会社が22・1%の860万円で落札し鉄筋6階建ての高層住宅図面ができたが色々な問題が起きて白紙になった。前回の事を教訓として建設

答弁 (建設課長)

議員4名役場3名で基本計画検討協議会を設置し色々な問題を協議する。

令和3年にこの事業が表に出て3年が経過した。今回で7度この問題を取り上げ、その中でまだこの事業

問

町道大久保線の改良事業が表にでて3年が経過したがこれからは

答

事業計画は継続するものと考えている

質問 (森若議員)

令和3年にこの事業が表に出て3年が経過した。今回で7度この問題を取り上げ、その中でまだこの事業

を継続するとの事。今までも町道の維持管理ができてない中でたった3人の利用者のために整備する必要がどこにあるか伺いたい。

答弁（建設課長）

上組より平成26年から要望があがっており、上組と白水を結ぶ大切な生活道路と想っており整備を計画している。

（森若議員）

自分に言わせれば無駄な工事の最たるものだ。このような工事がわずか7,000人あまりの町の町債130億4000万円の1因ではないのか。参考までに海田町の場合人口30,800人位で町債96億6,000万円。この事を町民はどのように感じるか。答弁は知らない。



わたなべ とし の り 議員
渡辺 年範

質問（渡辺議員）

大望月邸の指定管理者オーストより、邸内の襖に制作費無料での絵画の制作申し入れがあり、これに対して、町長の決裁が得られてないとのことであるが、その経緯及び町長が未決裁である理由を問う。

答弁（教育課長）

指定管理者オーストより、大望月邸の表座敷の襖八枚に、広島女学院大学の教授である三柘正典氏が、大崎上島の海、波をイメージした絵画を描く作品制作のための許可願いがあった。理由としては、コロナなどの影響もあり来館者が減少する中、大望月邸の付加価値を高める貢献がしたいという三柘先生の申し出がある。

問

大望月邸の襖絵の制作は

答

町長の決裁を得られていない

り、先生には、すでに令和5年2月に多門の襖及び屏風2隻に絵を描いていただいてる。先生の絵は1号17万円の価値がある。

質問（渡辺議員）

襖は町の固有財産であり、絵を描くことは固有財産の処分にあたる。文化遺産をありのまま保存継承するという意味では無地のままのほうが良いという意見もあるのでは。ゆえに、新しい襖に絵を描いていただき、期間限定で襖を入れ替えることにより来館者を呼び込むという宣伝方法もあったのでは。

答弁（教育課長）

無地に関しては付加価値をつけるということでは

描いていただくことになった。新しい襖に絵を描いていただくという発想はなかった。

答弁（町長）

教育委員会は、町の有形文化財として認定されるものには歴史的資産とし管理基準を明確にし、備品や展示物の台帳等を整備しそれらの管理に対して年次報告をすべきである。また、指定管理者に対しても、本来の目的や趣旨にのっとり適正に管理しなければならぬが、それができてない。故の判断である。

スマホやタブレットに無料アプリ「マチイロ」をインストールすることで、いつでもどこでも議会だよりを読むことができます。ぜひ、ご利用ください。（※議会だよりは定例会後の発行のため年4回です。）



iOS



android





うえあおき いたる
上青木 至 議員

問 施政方針について伺う

答 計画的にやっけていきたい

質問（上青木議員）
施政方針の中で非常に目を引く文言がある。「守るもの・変えるもの・後世に託すもの」この3つの中身を事細かく町民に分かりやすく、高齢者にも分かりやすい説明を求む。

らに求めていくものということ、3つを福祉の関係では計画的にやっけていきたい。

するよう努力していただきたい。
答弁（町長）
造船界の方とも話をしているが、職場環境というものを整えていく形が何かできないかなという相談を受けている。

質問（上青木議員）
後世に託すものについて、地元の基幹産業である造船、海運、農業、水産業があるが、今の島内における造船界、今のままでどうやって残すのか。

また、少子・高齢化が進む中で、何を根拠に医療に取り組みます、福祉に取り組みますと言っているのか。島の病院は設備があっても人がいない。

大学と話しているものもいいが、地元の医療施設を大事にするべき、いざと言うときにも地元の医療施設を充実

答弁（町長）
所信表明と、施政方針の中で、新しくやることにポイントを置いた事業の説明をあえてした。

島内の医療福祉の現状、特に新規学卒者がこの島内に戻る、あるいは残ること、町内の医療福祉の人材を確保するための、就業支援金、あるいは大学、専門学校に行ったときの奨学金の返還を支援する。まずは出身者である中から、医療福祉から地元へ何と目をつける仕組みを今回立ち上げている。

町長の言うのは、机の上だけ。コロナ禍で看護師さんなどのくらい離職されたと思うか。辞めた者は帰ってこない。ずっと待っているわけにいかない。机の上だったら、いつかは結果が出るでしょう。絵を描くわけだから。しかし、人間待つわけにいかない。命があるので。町長、実行してください。結果は必ず出ます。それで納得できる結果を出してください。ぜひともいろいろなどところで演説して、あなたが発した言葉を約束してください、町民と。お願いします。

町と関係機関が密接に連携して、長期総合計画に現福祉計画の部分を反映しながら、より膨らませていきたいというところで守るもの、変えるもの、後世にさ

島内の医療福祉の現状、特に新規学卒者がこの島内に戻る、あるいは残ること、町内の医療福祉の人材を確保するための、就業支援金、あるいは大学、専門学校に行ったときの奨学金の返還を支援する。まずは出身者である中から、医療福祉から地元へ何と目をつける仕組みを今回立ち上げている。

町長の言うのは、机の上だけ。コロナ禍で看護師さんなどのくらい離職されたと思うか。辞めた者は帰ってこない。ずっと待っているわけにいかない。机の上だったら、いつかは結果が出るでしょう。絵を描くわけだから。しかし、人間待つわけにいかない。命があるので。町長、実行してください。結果は必ず出ます。それで納得できる結果を出してください。ぜひともいろいろなどところで演説して、あなたが発した言葉を約束してください、町民と。お願いします。



議会傍聴をしてみませんか。
次回の定例会は**6月**です
日程は町内放送・ホームページで
お知らせします。

お知らせ
○本庁・各支所ロビーのテレビまたはインターネットで議会生中継がご覧いただけます。
※インターネットをご利用の場合はホームページの注目記事「○○議会ただいま生放送中」をクリックしていただければご覧いただけます。



しんとうまさみち
進藤 雅通 議員

問

大串堤防・悪水溜の管理は

答

堤防動態観測業務を毎年実施していく。悪水溜は委託金の割合についても今後検討していく。

質問（進藤議員）

現在、大串の堤防・悪水溜は町有地だが、この堤防が激しく傷んでいる状態を把握しているか。県に返還できないのか。また、悪水溜の管理に問題は無いのか。

答弁（建設課長）

傷んでいる箇所は把握しているが、道路改良事業で堤内側の張りつけ盛土を行い、堤防厚を2倍以上に増厚・上面は舗装し、安全性を考慮し現在も堤防動態観測業務を毎年実施し、特に異常な変異はない。返還の件は、県から傷んでいる箇所を修繕した後に検討するとの

ことで、今後は状況の把握を続け時期を見て県と協議を進めることも検討する。

また、現在堤防は安定しているため、持つておくのも一つの案と考える。

（進藤議員）

町が持つていても負担が増すばかり、返還することを検討してもらいたい。

答弁（地域経営課長）

悪水溜の管理は、水稲等の農業振興対策や豪雨災害対策で町が管理するものと考えている。組合や個人に委託しているが、農業団体が負担金を支払っている場所もあり、委託金の割合についても今後検討していきたい。

問

施政方針にある、福祉分野・定住促進住宅・危機管理、防災対策は

答

介護サービスの安定を図っていく。移住者には住む場所の選択肢が増える。町単位での避難訓練に繋げていく。

答弁（福祉課長）

①大崎上島町医療及び福祉従事者奨学金返還支援事業で、医療及び福祉の安定的な担い手の確保。介護資格取得及び資格更新支援金支給事業では、介護サービスの安定を図るため、介護資格の取得や更新の支援を行う予定。

（進藤議員）

介護の現場は介護職だけではなく、調理・清掃等の他の職員もいる。そういう方々がいるからこそ、介護の仕事が成り立っている。他の職種の方々にも目を向けてほしい。

答弁（地域経営課長）

②定住相談件数が増加傾向で、空き家バンク以外にも移住者には住む場所の選択肢が増え、新たな定住者が増えると考えている。

（進藤議員）

作るのには良いが今の定住者から、消防設備の誤作動や階段と廊下のスイッチが

逆、雨の日は駐車場へ水が溜まりすぎる・街灯が明るすぎ等の訴えを聞く。住みやすい住宅を作ってほしい。

答弁（総務課長）

③関連機関、他部署等の調整を町が行い、本年までに訓練を実施した地区が3地区ある。

また、自主防災組織の立ち上げの支援、推進及び避難訓練、防災研修等の開催や継続実施に向けて、地区への働きかけを継続し、町単位での避難訓練に繋げていく。



総務福祉文教常任委員会報告

委員長：閑田大祐 副委員長：渡辺年範
委員：進藤雅通 水橋直行 森 ルイ

令和5年12月の大崎上島町議会定例会以降に開催した、委員会での主要な調査協議事項及び、継続審議した内容と事業内容の審議について報告します。

○国民健康保険税

平成30年度から県内の保険税率の統一を目指し、緩和期間を設け、令和6年度が最終年度だったのですが、給付費が増えて確保する財源が大きく必要になったため当初目標にしていた令和6年度に準統一するには、単年度の上げ幅が大きいのということ、一旦見送りとなりました。

委員からは「算定が甘かったのでは」という質問がありました。



○戸籍附票システム

戸籍にはこれまでフリガナは一切付いていませんでしたが、マイナンバーと戸籍とで反故が生じているため戸籍にもフリガナをつけるという法改正がありました。

これにあわせてシステムの改修を行います。まずは戸籍の附票のフリガナとマイナンバーを紐づけて、戸籍の附票の住所と住民票の紐づけをシステム上でするものです。

○ふれあいの館

経年劣化により令和3年度にボイラーを更新していましたが、今年度は配管に漏水が生じました。漏水箇所は修繕はしましたが、今回の修繕箇所以外での漏水リスクが高まっています。

ふれあいの館は大崎上島環境センターの建設と同時期に建てられ、建設から約30年が経過しています。維持修繕費の増加が見込まれる一方、利用者数は減少しています。

町は運営審議会からの意見も踏まえ、今後について早急に結論を出したい、としています。

○滞納整理

税や保険料の滞納整理の取り組みとして差し押さえ等を実施していますが、滞納額の大幅な圧縮には至っておりません。

○小学校統合問題

教育委員会は検討会議を設置し、令和7年3月までに統廃合の是非について結論を出すという方向性を示しています。委員からは子供たちのことを第一に考えた検討を進めるよう求めました。

○海と島の歴史資料館

大望月邸（海と島の歴史資料館）の観光案内用モニターの情報が更新されていないことについて指摘し、適宜更新するよう求めました。



産業建設常任委員会報告

委員長：森若 巖 副委員長：上青木至
委員：浜田幸造 信谷俊樹 尾尻康二

令和5年12月定例会以降の委員会報告を行います。各課から令和6年3月定例会で議案となる主な条例案、補正予算案、繰越事業の進捗状況などの説明を受けて審議をしました。

○公共下水道施設費の委託料の中は、大崎処理場についての全てを下水道事業団へ委託しているものであり、工事を委託しているものです。

○漁業集落排水事業の管理施設にマンホールポンプ更新とあるが今回の実施箇所は、沖浦ストックヤードのマンホールポンプ2基です。

○地籍で外表地区の修正が多かった理由は、一筆調査で調査をして了解を得ていたのですが、図面を閲覧していただいたときに疑義が生じてきたためです。

○空家バンクで成約された方の働き場所とか何の目的で移住されたとかの把握はしているのか
大半が農業、自営業（カフェ等）です。

○空家バンクの成約で賃貸とか売買とかの比率は、賃貸の方が多いです。賃貸はあまりないです。賃貸の場合は修繕をどうするかなどがネックとなっています。

○新規就農者数の推移はどのようになっているのか
増えている。U・Iターン支援の部分で、昨年2月頃から増えてきています。

○町が管理している住宅戸数と空いている住宅の戸数は
住宅戸数は328戸で空いている住宅の戸数は16戸ぐらいだと思います。

○干拓地への土砂搬入について島外からも受け入れるのか

島内の建設残土の処分という考え方です。島外からの受け入れはしていません。

○デマンドバスの料金は今後上げていく可能性はあるのか
今後の町の施策にもよりますが、走れば走るほど赤字になるような料金改定も考えています。

○学習交流センターの地域おこし協力隊へ採用が難しいようであれば、現地採用という考えはないのか
そういった議論もしているのですが、地域おこし協力隊の今の現状の人数を確保したいという中で努力はさせていたと思います。募集についても通常の募集以外にも有料も

含めて募集をしているところですが、ハウスマスターに関しては応募がないという状況であります。



追跡 あれからどうなった

(平成23年12月定例会・

平成25年6月定例会一般質問から)

質問

県道大田木江線の道路整備計画は

回答

令和5年度から再度事業化している

その後の経過

県道大田木江線の整備については、これまで、木江信号機のところから徐々に道路拡幅してきました。

今年度からは、道路改良事業として木江信号機から大崎隧道までの区間を一体的に整備することになり、令和6年2月に木江公民館において、県の道路担当課が、道路改良事業の概要や今後の流れについての説明会を開催しました。



編集後記



令和6年1月1日に発生した、能登地方を震源とする大規模地震により犠牲となられた方々に心よりお悔み申し上げるとともに、被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。被災地域のみなさまの安全確保、そして一日も早い復旧・復興を衷心よりお祈り申し上げます。

わが町は比較的災害の少ない町ですが、決して他人事ではない災害に対し対応できないよう防災意識を高めソフト面・ハード面ともに向上できるように尽力したいと思います。

さて、皆様は「O7活動」と言う活動を耳にしたことはあるでしょうか。

町内の学校の生徒が発起人となり7つの立場や世代に働きかけ課題解決や活性化

に取り組む学生主導のプロジェクトで、令和5年度に放課後や休みの日に活動し、話し合いながらイベント開催などの活動をしていました。

私は、この活動に共感し、支えたいと思いました。

町とも情報共有し支援していきたいと思います。

この、若者たちの活動を見てわが町はまだまだ可能性があり前に進めるといいう、確信をいただきました。

町運営も暗くマイナスな出来事もたくさんありますが、腐らず前を向き模索していきたいと思える活動としてご紹介させていただきます。

N・M

議会広報委員

委員長 水橋直行
副委員長 浜田幸造
委員 森若 巖

進藤雅通
森 ルイ
上青木至

大崎上島町議会

TEL(0846) 65-3130(直通)

FAX(0846) 65-3117

〒725-0231 広島県豊田郡大崎上島町東野6625-1

URL:<http://www.town.osakikamijima.hiroshima.jp/>